

仙台市議会 市政活動報告

令和7年 議会報告 春号

仙台市議会議員 ごうこ正太郎



新年度予算に向けた予算審査をはじめとした35日間にわたる第1回定例会が開催され、私は予算審査にて健康福祉費にてがん患者、特に小児がん等の医療用ウィッグについて及び子ども関連事業。経済費においては観光を中心とした光のページェント及び青葉山のイルミネーション長期開催と冬時期における新たなイルミネーション事業の質疑を行いました。いずれも多くの方から頂いたご意見をベースとして調査を行い、質疑を行いましたので今回はその一端を要旨にてご報告いたします。

引き続き皆様から頂いたご意見が、一つでも多くの施策に反映ができるよう汗をかいて参ります。

プロフィール

会派
仙台市議会

市民フォーラム仙台 政調会長
市民教育常任委員会（市民局・教育局・消防局所管） 委員長
DX推進調査特別委員会 委員
終活支援条例検討会議 幹事

予算審査等特別委員会

健康

癌等の患者支援の拡充を求めました！

がん患者アピアランス支援

この予算の600万円は医療用ウィッグ、400万円が本年新規で乳房補正具の予算が付いた。

乳房補正具はスタートまで日程がタイトである（6月からスタート）。今購入した人は遡及して補助を受けることはできないことから適切に広報することが肝要であるが、所見を伺う。

答 弁 健康政策課長

がん患者へのアピアランス支援を充実することとし、新たに乳房補正具として、購入した費用の半額、パット等については上限1万円、人工乳房については上限2万円の助成を開始する。広報は、市ホームページなどの広報媒体のほか、事業に関するチラシを作成し市内乳腺外科を標榜する医療機関や、ピンクリボン仙台推進委員会の関係者等を通じ周知を行う。

私も現在ヘアドネーション（小児がんなどで義髪が必要な子どもに対しての医療用ウィッグで使用する髪の毛を寄付すること）のため髪を伸ばしているが、本市のアピアランス支援はがん患者に限定されている。今後癌に限定されない、先天性や事故などでもアピアランス支援に該当するよう制度改正を求めるが、所見を伺う。

答 弁 健康福祉局長

心身ともに成長過程にあるお子さんの場合、アピアランスについては、より配慮が必要と考えており、市内におけるがん以外のものを含めたニーズの把握にまず努め、その結果を踏まえた必要な対応を検討してまいりたい。

困難を抱える子どもの居場所を応援！

こどものためのサードプレイス事業（学校や家庭で困難を抱える子どもが安心して過ごせる居場所事業）が昨年始まったことは評価し、増設を求めてきたが次年度は予算が拡充し2カ所増やす予定というのは喜ばしい。現在は若林区に設置され、本年もプロポーザル（企画競争入札）が予定されているが、戦略的な立地場所の検討も行うべきかと考える。所見を伺う。

答 弁 こども若者局こども支援給付課長

事業の対象となる困難を抱える家庭の小学生は市内に一定数おり、児童扶養手当の受給対象小学生の分布状況や、地域的偏在が生じないように、バランスなども考慮しながら、新設するエリアを検討してまいる。

朝の子どもの見守りを地域と共に！

現在学校によって朝の開門時間にばらつきがあり、早くから開けている学校は先生方の努力によって成り立っている。翻って保護者は朝の出勤時間の関係で8時10分以降に子どもが学校に行くというのは難しい家庭も多い。朝の校内学び・体験の居場所づくりモデル事業で地域活力を活かしながら学校内で見守る環境を拡充していただきたいが、所見を伺う。

答 弁 こども若者局総務課長

本事業は、地域で支えるこどもの育ちや身近な居場所づくりなどを目的としており、地域住民の皆様や団体の方々の力を活かした取組が重要と考えてございます。

モデル事業を通して、地域力を活かしていくのに適した手法を検証してまいりたいと存じます。

本事業については、本年6月頃までの開始を目指しており、こどもや地域の方々のご意見等を踏まえ、効果や課題等を検証したうえで、令和8年度以降の事業を検討してまいります。

長期休み中の児童クラブへの昼食配送を全ての児童クラブへ！

昨年からはまった長期休み中の児童クラブ昼食配送だが、市内全域を見ると受託して下さる事業者が少なく実際には4割弱の児童クラブでしかできなかった。その課題について昨年の議会で議論し改善されたことは評価するが、理想としては更に地域振興の視点も含め受託事業者を募ることが肝要である。所見を伺う。

答 弁 こども若者局長

夏休みなど、給食のない長期休業期間において、毎日お弁当を作る保護者の皆様の負担軽減に向けた多くの声を受け、モデル事業に着手いたしました。今年度は、4事業者の参画を得て、44の児童館での提供を実現し、アンケートでは、高い評価を得ている一方で、改善に向けたご意見も頂いているところでございます。全ての児童館での実施という目標に向けましては、引き続き、事業者の皆様との対話を重ねてまいりますとともに、地域とのつながりといった視点も持ちながら取り組んでまいります。

経 済

新たな風物詩で活力を!! 夜のイルミネーションイベントをロングランへ!

昨年も委員会で複数回取り上げて議論してきたイルミネーションイベントに予算が付いたことは喜ばしく評価する。光のページェントについても本年は点灯区間が短くなってしまったが、それについても予算を確保したことは評価する。若者から夜に楽しめる場所が欲しいと言われ委員会でも議論してきたが、ロングランをするイルミネーションイベントについてトウクトウの使用検討など話題性をつくりながら行っていただきたい。また新たな冬のイルミネーションも開催予算が付き期待している。本市の活力として地元の方が集い楽しめる、そしてそこから観光にも発展できるよう期待をするが所見を伺う。

答 弁 観光交流部長

ご例示のありましたような話題性のある仕掛け、所謂バズるような仕掛けを取り入れることで、観光客への訴求力も高まると考える。今後、SNSなども含め効果的に情報発信を行いながら、仙台を代表する観光イベントとなるよう取り組んでまいります。

答 弁 文化観光局長

新たな観光戦略のもと、ナイトコンテンツの充実や仙台城跡からの景観を活かした観光スポットの整備などを進め、年間を通じて夜も楽しめる観光スポットとして磨き上げたい。相乗効果を高める視点も重視しながら、観光客・市民を問わず、多くの皆様に惹きつける賑わいの核となるよう取組みを進める。

詳しくはこちら



予算審査等特別委員会
健康福祉費



予算審査等特別委員会
経済費